

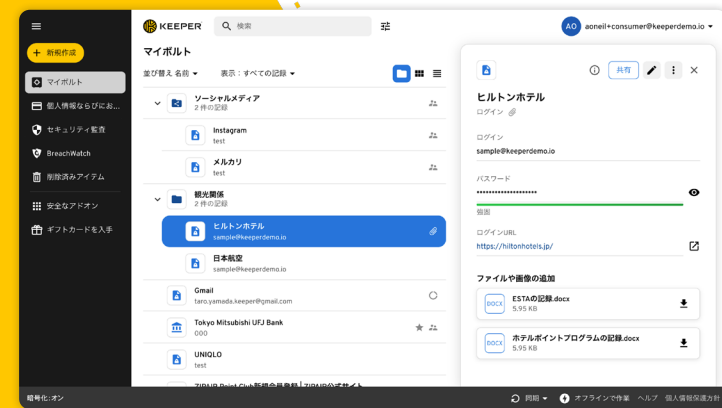
## Keeperパスワード管理ソリューションとは？

Keeperは究極のセキュリティ、可視性、および管理によりパスワードと機密情報を保護します。

データセンターからフロントオフィスまで、Keeperは究極のエンタープライズセキュリティとサイバー脅威対策を提供します。ゼロトラスト・ゼロ知識アーキテクチャにより、アプリケーション、システム、機密情報、ITリソースへのアクセスを保護します。組織全体の可視性、制御、イベントロギング、およびレポートングを実現しながら、監査とコンプライアンスを簡素化し、強化します。

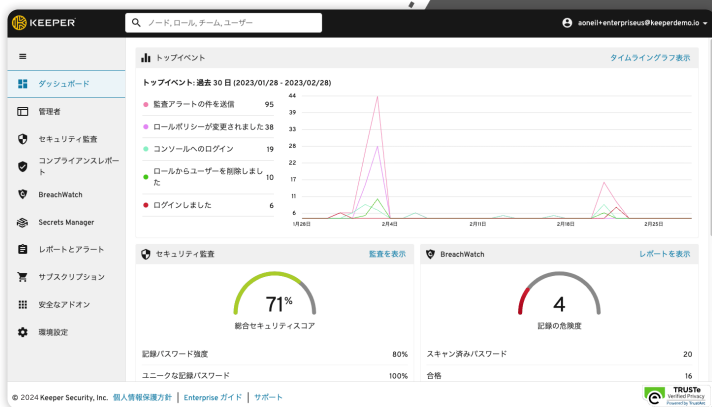
従業員のパスワードをKeeperに安全に保存することで、パスワードを覚えておく必要性をなくし、シンプルで推測しやすいパスワードを使用する習慣を防ぎます。ChromeやSafariのようなブラウザベースのパスワード管理とは異なり、Keeperはすべてのデバイス、Webサイト、ネイティブアプリケーションで動作します。さらに、Keeperは安全に機密情報の共有を可能にし、従業員がリスクなしに機密記録や認証情報を共有することを可能にし、漏洩したパスワードや脆弱なパスワードの警告機能を提供します。

Keeperは、あらゆる規模と種類の組織向けのパスワード管理ソリューションです。Keeperは世界中のあらゆる企業や人々に信頼され、愛用していただいています。詳細については、Keepersecurity.comをご覧ください。14日間の無料トライアルを開始することもできます。



## エンドユーザーボルト

Keeperの暗号化されたボルト（安全な保管庫）は、個々のユーザーがパスワード、認証情報、個人識別情報、デジタルメモ、およびその他の機密情報を安全に保管することができます。Keeperはゼロ知識ソリューションであり、各ユーザーのボルトはサーバー上ではなく、デバイスレベルでローカルに暗号化および復号化されます。従業員は複数のデバイスとプラットフォームで暗号化されたボルトにアクセスすることができ、必要な時にいつでも安全にパスワードやその他の保存された情報を取り出すことができます。



## 管理コンソール

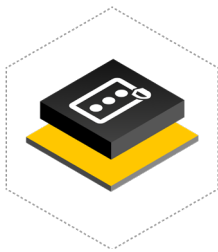
管理コンソールにより、管理者は組織のパスワードセキュリティ、ユーザーアクセス、およびコンプライアンスのあらゆる側面を管理することができます。管理コンソールにより、管理者はパスワードポリシーの適用、ユーザーロールとアクセス許可の管理、リアルタイム監査とレポートによるパスワードコンプライアンスの監視、二要素認証設定のコントロールが可能で、また、管理コンソールは安全なチーム共有、委任管理、ユーザープロビジョニングの機能も提供します。管理コンソールは、直感的なグラフィカルユーザーインターフェイスとコマンドラインインターフェイス（CLI）によるアクセスを提供しています。

# 主な機能とユーザー事例



**ロールベースのアクセス制御の定義** - 組織は、不必要な機密情報へのアクセスを排除しつつ、業務を効率的に遂行するために必要な認証情報とアクセス権を従業員に提供するという課題に直面します。

Keeperは、管理者がチームやグループから個々のユーザーレベルまで、機密データや認証情報への組織のアクセスレベルを調整することができます。また、ユーザーの職責に基づいて、セキュリティポリシーを定義することも可能です。



**複雑で強力なパスワード作成の強制** - Keeper管理コンソール内のマスターパスワードの複雑性ポリシーは、Keeperデータボルト（安全な保管庫）にアクセスする従業員のパスワードの複雑さの最小要件を強制します。設定には以下が含まれます：パスワードの長さ、桁数、特殊文字（記号等）の数、大文字数、小文字数

管理者は、生成されるパスワードの複雑さに関する要件を設定することもできます。この機能により、管理者はドメインごとにパスワードジェネレータの複雑さポリシーを設定することができます。このポリシーを設定すると、記録所有者はパスワードジェネレーター機能（サイコロのアイコン）を使用してランダムな高強度パスワードを作成する必要があります。



**二要素認証コード (2FAコード)** - 二要素認証の使用はKeeper管理者によって強制することができます、これはロールレベルで制御されます。Keeper管理者は2FAの方法、トークンの有効期間、およびその他の関連設定を強制することができます。ポリシーはロールレベルで強制することができますので、異なるポリシーを異なるユーザー毎に適用することができます。

Keeperはまた、ユーザーボルト内の記録の中に直接二要素コードを追加することが出来ることでアクセスする先のアプリケーションのセキュリティレベルを高めることができます。

KeeperボルトはサードパーティアプリケーションのTOTP / 2FAコードを保存・管理することも可能です。

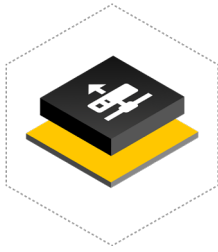
管理者が2FAの使用を強制すると以下のように表示されます。



ボルト2FAコード



管理コンソールの複雑で強力なパスワード作成の強制ポリシー



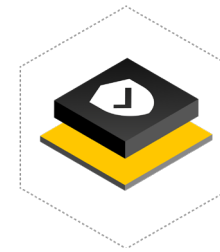
**SSO / SAML認証** - KeeperはHENNGE One、Okta、Microsoft Azure、Google Workspace、Centrify、OneLogin、Ping Identity、JumpCloudなどのSAML 2.0互換のIDプロバイダと統合できます。KeeperはSSO Connect CloudとSSO Connect On-Premの2つのSSO連携を提供しています。どちらの連携もエンドユーザーにシームレスな認証とゼロ知識暗号化を提供します。



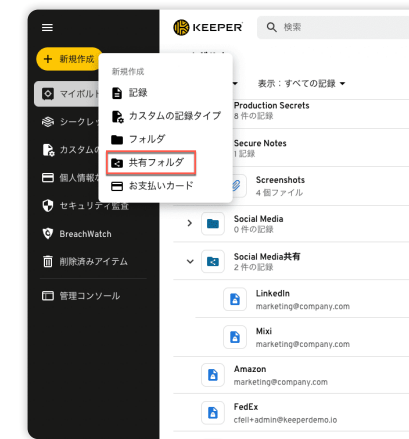
**安全な共有** - 職場でのパスワード共有は一般的な慣習です。従業員は、Eメール、SMS、Slack、付箋、スプレッドシート、またはその他の安全でない方法を通じて、基幹システムやSNSアカウントのような重要なシステムやアプリのパスワードを共有することがあります。安全なパスワード共有とは、従業員が暗号化された安全な環境下でパスワードを共有できることです。

Keeperは、各従業員が仕事関連のパスワードを保管するための安全で暗号化されたボルトを提供します。IT管理者は、許可されたユーザーだけにアクセスを制限することにより、最小特権とロールベースのアクセスを強制し、誰がどのパスワードにアクセスできるかを制御することができます。Keeperはいくつかの共有方法を提供します。

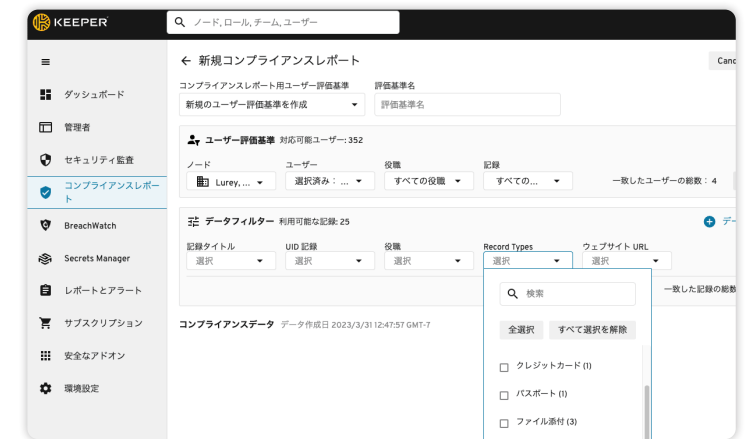
- 記録の共有 - 1つの記録を他のKeeperユーザーと簡単に共有でき、様々な権限タイプから選択してアクセスを制御することができます（編集可能、共有可能、編集と共有可能、閲覧のみ可能、所有権の譲渡可能）。
- フォルダの共有 - フォルダを共有することで、一度に複数の記録を共有することができます。フォルダ内の記録とユーザーを管理する権限を設定することができます。
- ファイルの共有 - 記録またはフォルダ共有を通じて、他のKeeperユーザーとファイルを安全に共有することができます。
- ワンタイム共有 - Keeperアカウントを持っていない人にも、期間を設定して安全に記録を共有することができます。



**コンプライアンスレポート** - Keeperは、従業員のパスワード強度、認証情報の共有、許可、ゼロトラストネットワークアクセスとパスワードのダークウェブへの流出の可視性と制御を提供します。コンプライアンスレポート機能は、内部統制の要件をサポートします。Keeperのサイバーセキュリティプラットフォームは、委任管理、強制ポリシー、イベント追跡、カスタマイズ可能な監査ログ、レポート、および既存のIAMとSIEMソリューションとの統合を可能にします。



記録の共有



コンプライアンスレポート



**ダークウェブ監査** - BreachWatchは、ダークウェブの情報漏洩データをリアルタイムに監視することで、ユーザのパスワードがダークウェブ上の漏洩パスワードと一致している場合にユーザと管理者に通知されます。それにより、クレデンシャルスタッフィング攻撃またはアカウント乗っ取りを防ぐことができます。

管理コンソールのダッシュボードで組織全体で漏洩しているパスワードの利用数が確認でき、どのユーザのパスワードが流出しているのか、またユーザーがBreachWatchの通知に対して適切な対処したかを確認することができます。



## Keeperのデータ保護とパスワードマネージャー セキュリティに対する情熱

Keeperは、ゼロトラストフレームワークとゼロ知識セキュリティアーキテクチャでクラス最高のセキュリティを通して、お客様の情報を保護し、データ漏洩のリスクを軽減します。

データはクラウドセキュリティポルト上ではなく、ユーザーのデバイス上で暗号化・復号化されます。クライアント (iPhone、Androidデバイス、デスクトップアプリなど) がローカルでデータの暗号化と復号化を行うため、私たちはこれを「クライアント暗号化」と呼んでいます。クラウドセキュリティポルトには256ビットの暗号化された暗号文が保存され、ハッカーなどの侵入者には基本的に何の意味もない文字列となります。クライアント・デバイスとクラウドセキュリティポルトの間で送信される際にデータがキャプチャされたとしても、復号化したり、ユーザーのプライベートデータを攻撃したり危険にさらすために利用したりすることはできません。

AES256ビットキーを破る、あるいはハッキングするには、128ビットキーの2128倍の計算能力を必要とします。理論的には、256ビットのキー空間を使い果たすのに3×1051年かかることになります。



FIPS 140-2



SOC 2



ISO 27001



# KEEPER

Keeper Security APAC株式会社

[keepersecurity.jp](https://keepersecurity.jp)



# KEEPER

Keeper Security APAC株式会社

## Keeper パスワード マネージャー概要

